

ハンドボール県総合選手権

ハンドボールの第53回県総合選手権最終日は23日、浦添市のANA ARENA浦添で行われ、男子

は興南B I Cが25-20で、初めて決勝に進出した具志川HCを下して栄冠に輝いた。女子はザ・テラスホテルズが22-12でレキオクラブに勝利し、頂点に立った。マスターズの部は興南OBが優勝し、50代以上のマスターズ50sの部は沖縄教員が1位だった。

興南B I C V テラスH

(男子) (女子)

地力の高さで後半圧倒 興南B I C



興南B I C-具志川HC 後半、ディフェンスを突破してサイドからシュートを決める興南B I Cの宮城護(21)。(23日、ANAアリーナ浦添)

後半からはB I Cの本領「ハイライト」と語った。決勝の相手は具志川商のBが集まった結成2年目の具志川HC。初の決勝進出に具志川の志村壘主将も「優勝を狙っていたと気が十分。守備を振り切り、丸も角度の厳しいサイドシュートを決めるなど、一気に攻め上げた」と語った。主将の宮城は「後半に守つて速攻でリズムに乗れたことが勝因」と語り、比嘉が成し遂げた下地利権がと笑顔をみせた。大学卒業後、沖縄銀行で働きながらハンドを続ける下地は「憧れの先輩から社会人のハンドを学ぶことができて、夏のジャパンプンも目指してみたい」とほつらつと語った。(嘉陽拓也)



【男子】	興南B I C	30	16	那覇西高		
那覇西高	29	26	マルユーハ			
あい保険工	27	23	興南高			
具志川HC	35	24	チーム馬			
【女子】	ザ・テラス	22	11	6	12	レキオ
レキオ	26	24	那覇西高			
【マスターズ】	興南OB	11	4	2	4	糸満OB
沖繩教員	14	7	6	11	3	六会



ザ・テラスホテルズ-レキオクラブ 前半、ディフェンスをかわしてゴールを決めるザ・テラスホテルズの比嘉美咲

要所で判断力光る テラスホテルズ

○:女子のザ・テラスホテルズは、派手さはないが、状況に合わせた判断力を発揮した。高良政幸監督は「試合のたびに練習の成果が表れた。決勝はやりたいたいプレーができた」と手応えを得た様子だ。



マスターズの部優勝の興南OB



マスターズ50sの部で優勝した沖縄教員

マスターズ 興南OB制す

マスターズの部で優勝した興南OBの棚原寿主将の話。週1回の練習だが、田場裕也がメンバー入りして以降は、攻守で役割がはっきりしてバランスが良くなっている。守備でも守れるようになり、攻撃もミスが少ない試合だった。

勝因は結束と総合力

マスターズ50sの部で優勝した沖縄教員の大田隆寛主将の話。チームの結束と総合力で勝った。その中で、助っ人GKの菅山正樹が良い働きをした。コザクラブOBは常に難しい相手だが、互いに大きな助けがなかった。

1月未だに、日本ハンドボールリーグ・琉球コロンに所属歴があり、県内外で指導歴のある積孝也外部コーチが就任。そこから各選手が無駄なく最適なプレーをする意識を高めてきた。本大会はセットプレーを使わず、個々の選手が的確なプレーを選択することに力を入れてきたという。

比嘉美咲は「見る人にとっては力が落ちたと思われるかもしれないが、攻守は安定している。日本リーグ参加には必要なレベルアップなのでさらに基本技術を上げた」と話した。